

透析医療の自主機能評価指標

評価指標項目	
I.施設の状況	
1.施設の設備	
①施設の種別	無床診療所
②(有床の場合)病床数	
③ベーンションステーション台数(透析ベッド数)	70台
2.施設の機能	
①準夜透析の可否(21時以降終了)	不可
②(可の場合)透析室の終了時間(通常時の最終透析回収時間)	
③オーバーナイト透析の可否(日をまたがる透析で6時間透析以上)	不可
④在宅血液透析の可否	不可
⑤オンラインHDFの可否	可
⑥シャント手術の可否	不可
⑦PTAの可否	不可
⑧障害者自立支援医療機関かどうか	自立支援医療機関である
⑨処方区分(院内処方・院外処方)	院外処方
⑩腎代替療法実績加算の有無	ある
⑪下肢末梢動脈疾患指導管理加算の有無	ある
3.医療スタッフの状況	
①透析に関わる医師数	常勤:2名 非常勤(週1回以上勤務):7名
②透析医学会会員の医師数	2名
③透析専門医の人数	2名
④透析技術認定士の人数	9名
⑤透析に関わる看護師数	常勤:14名 非常勤(週1回以上勤務):5名
⑥腎不全看護認定看護師の人数	0名
⑦慢性腎臓病療養指導看護師の人数	0名
⑧透析に関わる臨床工学技士の人数	常勤:9名
⑨血液浄化専門臨床工学技士の人数	0名
⑩認定血液浄化臨床工学技士の人数	2名
⑪透析に関わるメディカルソーシャルワーカーの人数	0名
⑫管理栄養士の人数	常勤:0名 非常勤(週1回以上勤務):1名
II.患者の状況	
①外来HD患者数	185名
②外来PD患者数	1名
③外来透析患者に対する後期高齢者患者の比率	29.60%
III.治療指標(外来HD患者対象)	
①腎性貧血管理(Hb10.0g/dl以上の比率)	90.90%
②P管理(P6.0mg/dl以下の比率)	75.80%
③PTH管理(iPTH240g/ml以下、あるいはwholePTH150pg/ml以下の比率)	73.10%
④透析時間(4時間以上の患者の比率)	73.10%
⑤透析時間(5時間以上の患者の比率)	8.60%
⑥透析時間(6時間以上の患者の比率)	0.50%
⑦透析量(Kt/V1.2以上の比率)	88.90%

II.患者の状況・III.治療指標(外来HD患者対象) 2019年12月31日現在  
 以外 2020年7月1日現在  
 \*「日本透析医学会の透析医療の自主機能評価指標に基づく」